

編集 後記

編集顧問 町田 豊平
編集委員 郡 健二郎

小川 秋實 秋元 成太 村井 勝
藤岡 知昭 大家 基嗣

先日、敬愛する先輩より、「リュクサックの中には、逝かれた妻の写真を常に持参しているのだが、残念ながら天候に恵まれることが少なく、山頂の絶景を妻と楽しむことができない」ということを聞きました。小生は、その山での悪天候は、山神様が嫉妬していることが原因に違いないと考えました。そんな折、東北新幹線で車内誌「トランヴェール」に掲載された秋田県角館市から鷹巣町までの秋田内陸鉄道の旅とマタギの里阿仁町を紹介した『邂逅の森を旅する』の特集を読み、山神様嫉妬説が正しいことを確信しました。マタギは熊、青猪（日本カモシカ）などの狩りを生業とする男たちの集団です。ご承知のとおり『邂逅の森を旅する』は熊谷達也著による大正時代のマタギを主人公とした恋愛小説で、その随所にマタギの興味深い生活や慣習が描かれています。狩りで得られた獲物は、すべて「山神様の授かり物」であるという考え方をします。「山神様」は非常に醜女で、しかも困ったことに異常に嫉妬深く、彼らは山に入る際には「山神様」より外観の醜い「オコゼ」の乾物を持参し、これをお供えすることで機嫌をそこなわないように心がけていたとされています。この特集の中で掲載された「オコゼの乾物」の写真を見た瞬間、これだと思いました。晴

天の登山を楽しむには「オコゼの乾物」を持参し、これをお供えすることで機嫌をそこなわないように心がけていたとされています。対策は簡単なことだったのです。先輩は、小生の「山神様オコゼ改善説」に同感されて、早速、オコゼの乾物を用意されたようです。いざさか気になるのは、乾物にしたのは魚の頭部のみで、他の胴体はすでに先輩の胃袋内に納まっていることです。

さて、今月号は、「進行性腎癌に対する分子標的薬・薬剤選択ガイド」です。従来 IFN- α や IL-2 によるサイトカイン療法が標準治療でしたが、2008 年、チロシンキナーゼ阻害剤が導入され、その 2 年後には mTOR 剤も承認され、本邦における進行性腎癌治療も分子標的薬時代に突入したと思われます。このような意味で今回の特集は時を得たものと考え、多くの読者に有益なものとなるものと考えます。また、カラーグラビア【珍しい外陰部疾患】は陰茎絞扼症であり、「交見室」にも 2 編の投稿があり、今後、ますます活発な意見交換がなされるものと確信しています。

平成 24 年新年を迎え、「臨床泌尿器科」を今年もよろしくお願いします。

(藤岡知昭)

臨床泌尿器科 (第 66 巻 第 1 号) (通巻 784 号)
2012 年 1 月 20 日発行 (毎月 1 回 20 日発行)

定価 2,940 円 (本体 2,800 円 + 税 5%)

2012 年年間購読料

冊子のみ	41,780 円	冊子+電子版/個人	46,780 円
電子版/個人	41,780 円	冊子+電子版/共有	53,100 円
電子版/共有	48,200 円		

増刊号を含む 13 冊、税込、送料小社負担

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5709

(担当: 登・安部)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

E-mail: rinpi@igaku-shoin.co.jp

振替口座 東京 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (株)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2012, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信 (送信可能化権を含む) に関する許諾権は医学書院が保有しています。

・ 本誌を無断で複製する行為 (複写、スキャン、デジタルデータ化など) は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的 (診療、研究活動を含む) で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ **JCOPY** < (株) 出版者著作権管理機構 委託出版物 >

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(株)出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。